

第49回日本作業療法学会

趣 意 書



主催：一般社団法人 日本作業療法士協会
開催：一般社団法人 兵庫県作業療法士会
第49回日本作業療法学会実行委員会

第49回日本作業療法学会

趣 意 書

一般社団法人 日本作業療法士協会
第49回日本作業療法学会

学会長 古 川 宏

平成27年6月19日から21日の日程で、神戸市中央区の神戸ポートピアホテルおよび神戸国際展示場を会場として第49回日本作業療法学会を開催することが決定されました。

近年の保健・医療・福祉を取り巻く社会・経済状況の変化や被災によって、個々人の生活スタイルは変貌を余儀なくされております。高齢者や障害者をはじめ、全国民にとって変遷の激しい制度を知り、効率的な保健・医療・福祉のシステム構築と利用法に関与すること、および有効な支援技術が必要となってきました。作業療法士は「作業をすることで人は元気になれる」の信念のもと、国民生活へサービスを行ってきました。また、平成27年は日本に作業療法士が誕生してから50年の記念すべき年になります。そこで今回の学会では、「温故知新～ 五十路を還り 将来を展ぶ～」をテーマに日本社会にマッチした先達たちの実践の検証、展開、後輩への引き継ぎと、平成26年に横浜で開催されたWFOT（世界作業療法士連盟）大会で体験した世界レベルの各国の取り組みとの融合を図る理論や方法論を討論していく所存です。

「展ぶ」という文字には「どこまでも伸び広がる」という意味がありますが、故事では「驥足を展ぶ」という使われ方もあり、名馬が全力を出して走る様を表します。作業療法士という専門職が学会を通して、その才能を十分に発揮し、どこまでも伸び広げてほしいという、第1回作業療法学会から作業療法を見続けてきた大会長の願いです。

作業療法を保健・医療・福祉関連職種の方々、および多くの一般市民の方々にご理解いただく場として「公開講座」を予定し、これからの作業療法の方向を大胆に提示したいと考えております。

なお、この学会が作業療法の分野に止まらず、日本全域の保健・医療・福祉の様々な分野における国民の意識を高め、それらのシステムと技術の向上へと繋がるよう、会員一同で企画・運営等の準備を進めているところです。

どうぞ、このような趣旨をご理解頂き、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

開催要綱

- 名 称 第49回日本作業療法学会
- テ ー マ 温故知新 ～^{いそじ}五十路を^{かえ}還り^{みらい}将来を^の展ぶ～
- 会 期 平成27年6月19日(金)～6月21日(日)
- 会 場 神戸ポートピアホテル
〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6-10-1
TEL 078-302-1123 FAX 078-303-5248
- 神戸国際展示場
〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6-11-1
TEL 078-302-5200 FAX 078-302-6485
- 主 催 一般社団法人 日本作業療法士協会
〒111-0042 東京都台東区寿1-5-9 盛光伸光ビル7階
TEL 03-5826-7871 FAX 03-5826-7872
- 学 会 長 古 川 宏 一般社団法人 日本作業療法士協会監事
神戸学院大学
- 副 学 会 長 長 倉 寿 子 一般社団法人 兵庫県作業療法士会会長
関西総合リハビリテーション専門学校
- 参 与 大 瀧 俊 夫 神戸労災病院
種 村 留 美 神戸大学
- 学会事務局 〒654-0142 兵庫県神戸市須磨区友が丘7-10-2
神戸大学大学院保健学研究科 内
E-mail info@otgakkai49.jp
- 学会ホームページ <http://www.otgakkai49.jp>
-

学会企画

1. 一般演題発表数

口述発表：500題（予定）

ポスター発表：700題（予定）

2. 学会長講演

「私のOT経験と将来に望むこと - 温故知新 -」

講師：古川 宏（神戸学院大学 教授）

3. 特別講演

1) 「私の行ってきたリハビリテーション実践とOTに期待すること」

講師：澤村 誠志（一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会 名誉会長）

2) 「革新的ロボット技術との融合による未来のリハビリ」

講師：山海 嘉之（筑波大学教授、サイバニクス研究センター長）

4. 招待講演

「義手の過去・現在・未来」

講師：Atkins D.J.OTR (Coordinator, Amputee Center Baylor College of Medicine, The Institute for Rehabilitation and Research, Houston TX USA)

5. 教育講演

「進行性筋ジストロフィー症のリハビリテーション」「リハビリテーション栄養」

6. シンポジウム

温故知新に関するテーマシンポジウム、国際シンポジウム、各領域のシンポジウム

7. セミナー

ナイトセミナー、モーニングセミナー

8. 公開講座

1) 住み慣れたまちで生きていく ～地域包括ケアの実践～

I部 講師：小笠原 文雄（小笠原内科 院長、日本在宅ホスピス協会 会長）

II部 講師：逢阪 悟郎（厚生労働省老健局老人保健課医療・介護連携技術推進官）

2) 認知症と生きる ～科学的なケアを実践できる社会づくり～

I部 講師：岡野 雄一（漫画家）

II部 講師：池田 学（熊本大学大学院生命科学研究部 神経精神医学分野 教授）

9. 機器展示

10. レセプション

11. 参加予定者数

6,500名

第49回日本作業療法学会(兵庫) 予算案

収入の部

勘定科目	予算額(円)	備 考
参加費収入		
会員事前納付	45,600,000	12,000×3,800人
会員当日納付	12,000,000	15,000× 800人
会員当日納付(1日)	13,600,000	8,000×1,700人
WFOT会員	300,000	15,000× 20人
他職種・一般	390,000	6,000× 50人 18,000×5人(発表)
学生	150,000	3,000× 50人
寄付金収入	500,000	コンベンション振興財団
雑収入		
展示	3,500,000	機器展示(賛助会員・一般)他
広告	2,000,000	学会プログラム集等
その他	500,000	利子等
合 計	78,540,000	

支出の部

勘定科目	予算額(円)	備 考
給与手当	800,000	アルバイト人件費
福利厚生費	2,000,000	運営委員等保険料、当日弁当代
会議費	800,000	実行委員、運営委員等食事・茶菓子代
旅費交通費	6,500,000	講師・運営委員等交通費・宿泊代
消耗品費	2,100,000	事務用品代
消耗備品費	350,000	ノートパソコン、事務機器等
印刷製本費	3,000,000	学会案内、ポスター、封筒等
渉外費	1,200,000	講師接待、記念品等
通信運搬費	2,100,000	郵送費、電話・ファックス代等
委託料	20,800,000	会場設営、会場設営等に関する業務委託
諸謝金	3,500,000	講師料他
賃借料	35,000,000	会場使用料、機材等使用料
雑費	390,000	
合 計	78,540,000	

